



創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町
ACCESSORIES

イクシマヤ

TEL. (33) 2415・2416

秋はあなたの季節
最高におしゃれを
楽しむとき



ブラウス
セーター
ランジェリー
ハンカチ

おしゃれを愛するあなたの

SUGIYA

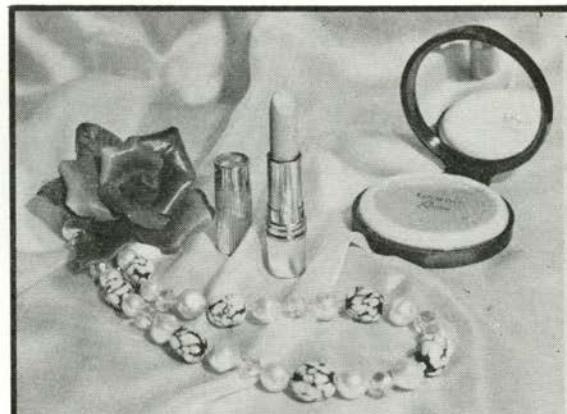
トアロード TEL ⑧3436



毛皮の店

ウエタ

元町2丁目 ⑧0686



絹屋 化粧品店 西店・三宮柳筋⑧5 778
東店・甲南本通⑧0250

チャーミングな
あなたをつくる
芸夢のセンス

コスチュームアクセサリーの店 神戸店 / トアロード ③8643 2298
**芸
げい
む
夢**
 大阪店 / 心斎橋ロビー (211)5153 1044
 心斎橋名店街(小大丸ビル) 211 8508



カバ ン 大 上 鞄 店
 ハンドバッグ 元町通1丁目 TEL ③3962

播 新
 新古美術 播新

神戸元町3丁目・③2516

エキゾチックな
神戸が生んだ
ユニークな香り！

男性にも★女性にも★
 ふけ・かゆみ・抜け毛
 整髪にも……

高級ヘヤトニック 〈包装価格〉 450円・1,000円

オードコーカス

発売元 神戸 三星堂
 全国有名百貨店・薬局
 化粧品店にて販売いた
 しております。



高級紳士服専門店

神戸テーラー

生田区北長狭通2(省線高架通50) ③2817

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
③31309・6234



海外旅行

には最も好評な当店
の完全ノーアイロンシャツを是非
ご用意ください。

ようすゆ襯衣縫上處

神戸シャツ

神戸大丸前 TEL ③2168

センスあふれる
ベッ甲専門店

TEL ③6195
元町通り
1丁目

太田鼈甲店





秋から冬への
世界の品々が
整いました



元町2丁目
③4707~8

ハイセンスの
紳士服で
最高の
おしゃれを！

三恵洋服店

元町通4丁目
TEL ③477290



千利庵

神戸元町4丁目 TEL ③46959



男子洋品の店

コウベヤ

元町2・TEL ③2589



ご贈答に風味豊かなカステーラ
長崎堂本店

本店・大橋@0553 元町店@4130 神戸新聞秀品店阪急

フランス菓子 **ドンク**
三宮センター TEL @9481~3

芦屋店・サンドウイッチャーラー
そごう店・姫路店・大阪店

神戸名産 **煎餅瓦**

神戸三宮トア・ロード
本店@3 1番 2番 3番
南店@1 6 1 6番

クリームベリタス
ロールラッキー
地方送り承ります

おくりもの、おみやげに

神戸本社
神戸直売店
大阪堺筋店
大阪心斎橋店
東京銀座店
東京新宿店

千葉駅ビル店

竜乃井 亀井堂本家

The
Cosmopolitan
Valentine F. Morozoff

* おいしいゼリーもお試し下さい *

コスマポリタン
チョコレート・キャンディー

神戸本社	神戸市生田区三宮町1丁目170	電話 33-5304
神戸直売店	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-1217
大阪堺筋店	大阪市東区淡路町2丁目	電話231-6979
大阪心斎橋店	大阪市南区安堂寺橋通4丁目	電話251-4182
東京銀座店	東京都中央区銀座8丁目	電話571-2303
東京新宿店	東京都新宿区角筈1丁目	
	新宿ステーションビル地下2階	電話352-2436
千葉駅ビル店	千葉市新町千葉駅ビル名店街	電話 7-2534



神戸夫人

武田繁太郎
え・青木一夫



ここ半年ほど、矢島夫人が『草絵』なるものに熱中し
だしていたことには、さしたる動機もなかつた。

さいしょは、仲のいい加藤夫人のすすめで、友田深雪
先生作の『草絵』の作品を一枚買ったことからはじまる
普通の色紙に、色のついた和紙を、切つたりちぎつた
りして貼りつけた、一輪の水仙を描いたその作品は、い

かにもセンサイな女性の手で仕あげられたような、えも

言えぬ優美さと典雅さとがあふれていて、たいそう夫人
のお気に召した。それに、お値段も一枚八百円という手
ごろさが、いつそう夫人のお気に召したようだ。

しかし、つづいて二枚、三枚と氣にいった作品をもと
めていくうちに、娘時代から多少絵ごころのあった夫人
は、なんだか自分でも『描け』そうに思われだし、そし

て、そう思うと、きゅうに『お稽古』してみたくてなら
なくなつた。

きいてみると、友田深雪先生は、須磨の自宅で、お弟
子さんもとつて、『草絵』の実地指導にあたつていらつ
しゃるという。

「ねえ。ちょうどいいじゃないの。あたしたちも習い
ましょうよ」

こんどはアベコベに、尻ごみする加藤夫人を誘惑して
さつそく友田門下に入門に及んだという次第であつた。
加藤夫人は、二人の愛兒をかかえた、少々多忙な身のう
えだつたが、矢島夫人のほうは、結婚して満七年、いま
だに子宝に恵まれぬ、それゆえに、少々さびしくもま
た、少々ヒマが過剰気味の毎日であった。

『草絵』のお稽古始めて、加藤夫人がいさか尻ごみし矢島夫人がえらく積極的だったのも、その辺の家庭の事情の相違によるらしかったが、しかし、世はあけてレジャー・ブーム時代である。まして、子供からおとなまでお稽古事花盛りのご時世に、加藤夫人も負けではないなかつた。こういうさいにこそ、日ごろの『恐妻』のはならぬのである。加藤夫人も、独断で、敢然と親友の権威にかけても、少々の家庭の犠牲ぐらいは、いとうて誘惑に乗る決心をつけた。

友田深雪先生の自宅は、須磨の武庫離宮のちかく、閑静な住宅街の一角にあった。四圍にうつそうたる樹木を茂らせ、やや古びてはいるが、堂々たる構えのお屋敷だった。そのはずである。友田家といえば、先代が友田電器の会長として、関西経済界に名をはせた人物であり、深雪先生はその家付き娘だった。夫君はご養子さんだが現在は友田電器の常務として先代の遺業を継いでいた。

しかし、そんなハイ・ソサエティの深雪先生とはちがい、二ダースちかくいたお弟子さんたちは、そのほとんどがいわゆる中間階級に属する家庭の主婦やお嬢さんたちばかりだった。だから、週二回のお稽古日には、矢

島・加藤両夫人も、不必要な気おくれやらコンプレックスなど抱かず、たいそう気らくに友田邸へ『通学』することができた。

友田邸の『お稽古』が、こうしたリラックスなムードにつつまれていたのは、ひとつには、草絵そのものの『お稽古』の性格にもよっていたが、それよりも、深雪先生の人柄によるところが多いようであつた。

矢島夫人のみるところ、深雪先生には、上流婦人ありがちな氣位の高さや尊大さなどみじんもなく、むしろいい意味での深窓の女性らしい淑やかさと、その育ちのよさからくる気さくさとにあふれていた。そして、矢島夫人は、そんな先生の魅力にたちまちひかれてしまい、草絵以上に先生その人の熱烈なファンになってしまった

しかし、そうしてお熱をあげていくうちに、ふと、矢島夫人に気づくことがあつた。それは、あれほどのチャーミングな人柄とすぐれた素質を持ちながら、深雪先生の存在と草絵の価値がそのわりには、世間にアッピールしていられない、という不満であった。これはファンにとても、不本意きわまる話だった。

「ねえ、あなた。先生はもつと世間に認められていいと思うのよ。いまのままで、なんとしても癪だわ。なんとかならないかしら」

夫の矢島氏にも、夫人はそんなグチをもらすようになつたが、矢島氏は妻の『のぼせぶり』にいさかかへキエキしながらも、愛妻家の寛大さをいっぱいにあらわしながら言つた。

「そりやね。こういう仕事は、神戸じゃ駄目だよ。やつぱり、中央に進出しなきやね。それに、うまくマスコミに乗ることだよ」

「うむ。そうだ。いいプランがあるぞ。ものは試しだひとつ、やってみようか」

矢島氏の大学時代の親友の一人が、東京のPテレビ局に勤めていた。それで氏は思いだしたのだが、このP局では目下「私をあてて下さい」というクイズ番組が、二十分何%だかの最高の視聴率をあげていた。ホンモノ・ニセモノとりませた出演者のなかから、ゲストたちがいろんな質問を発しながら、ホンモノをあてようという、まさにタワイのないクイズ番組だったが、矢島氏は、この番組に深雪先生をだそうと考えついたのである。

氏はさつそく東京のP局に長距離電話し、友人を呼びだして、深雪先生の売りこみにかかつた。

ところが、先方でも、意外なほど大乗気で、氏の売りこみに乗ってきたのだつた。この種の番組のむつかしさは、話題になりそうな出演者をみつけだす苦労にあつた

ちょうどP局でも、そろそろ出演者がタネ切れになりそうな時機にぶつかっていたのだ。まことにタイミングがよろしかった。

すぐさま、P局では、来々週の公開放送に出演してほしいと言つてきた。さア。そうなると、こんどは矢島夫人のほうがあわてふためいてしまつた。なにぶん、肝心の先生には無断で申しこんでいたのだ。それに、来々週といえど、あと半月の余裕しかない。

ともかくも、矢島夫人は、鼻のアタマに汗をかきかき大至急、友田家へ伺候した。だが、さらに困つたことに先生がどうしてもウンと言つてはくださらぬのだとた。

もともと、万事にひかえ目で、名利には淡白すぎるほど、テンタンとした先生だった。そんなテレビ出演など大仰なことはどうかカンニンしてください、と、先生のほうから両手をついてあやまられると、矢島夫人も、もうかえす言葉もなかつた。

やむをえない。夫人は夫を通して、また大至急、P局へ出演中止の電話をかけた。だが、そんな電話ぐらいでおとなしくひきさがる相手ではなかつた。P局ではすでに当日のスケジュールを組んでしまつており、この機に及んで出演者の変更は不可能だと言うのだ。

「でも、そこをなんとか、他の方にかわつていただけないでしようか。お願ひです！」

こんどは、矢島夫人みずから送受器を握つて、オロオロ声で懇願していくが、その夫人の耳にトテツもない返答がかえつてきた。

「じゃ、どうですか。友田先生が駄目なら、奥さん。あなたが出演してください」

「えッ？ このあたくしが？」

「そうです。どつちだつて、わかりやしないですよ。

あなたも、草絵をやつていらっしゃるんでしょう？ だつたら、けつしてインチキじやなし、文句ありませんよ」

この一種暴力的とも言える、むちやくぢやな返答が、しかし、それまでただううろとうろたえるばかりだつた矢島夫人の心に、ふいに、猛然たる斗志のようなものをかきたてさせたのである。

「そうですか。よくわかりましたわ。あたくしが出演するくらいなら、先生の首に綱をつけてでも、東京へお連れしてみせますわ」

夫人は気づかず、このとき、夫人はうまうまとマスク



ミのベースに乗せられていたのだった。

早いもので、あれからもう三ヶ月。

きょうもお稽古日だったので、矢島夫人は加藤夫人と誘いあわせて、須磨の先生のお宅にでかけていた。

だが、先生はお留守だった。一二三日まえから、四国の方へ出張教授でかけていらしたのだ。なんだか冷たい秋風が吹くように、矢島夫人の心中はさびしかった。

しかし、きょうだけではない。三ヶ月まえ、それこそ先生の首を綱でひっぱるようにして、やつとの思いで東京のテレビに出演させてからというもの、先生はにわかに東奔西走のいそがしい身になってしまった。

テレビ出演は大成功だった。全国各地から先生の出張教授をまわりたいという依頼が殺倒しだしたのである。かくて加えて、これはテレビのせいかどうか不分明だったが、ミチコサマが先生の草絵をたいそうお気に召して

過日、ついにお買上げの榮に浴することになった。とたんに、先生の作品の市価は三倍に跳ねあがつてしまつた。

「さすがに、えらいものだわね！」

矢島夫人は、わがことのように、加藤夫人と喜びあつ

たものだが、しかし、そうして手放しに喜んでばかりもいたれぬ事態が、ちかづいていたようであった。

側近のお弟子さんの話によると、先生はちかぢか東京への進出を考えていらっしゃると言う。すでに旦那さまのご内諾もえて、東京の赤坂あたりのレジデンスの一室を物色中で、月のうち半分は東京で過ごされることになるらしい。そうなると、神戸の自宅には、ますます不在がちという状態になるだろう。

「ああ——」

と、矢島夫人の口から、ちからはない嘆声がもれた。悲しいような、うらめしいような、なんとも名状しがたい思いだった。

「矢島さん。あなた、きょうお月謝持つていらっし

た？」

加藤夫人が小声でたずねた。

「ええ。持つてきたわ」

矢島夫人は、ハンドバッグのなかから、封筒にいれた「お月謝」をとりだした。その月謝も、この月から倍増の二千円になっていた。一瞬、矢島夫人は、ほろにがそなう表情で、その「お月謝」の封筒を、側近のお弟子さんにして差しだすのだった。

(この項終り)

* 神戸の催物ごあんない*

▷民族歌劇団わらび座公演
11月19日～22日 PM6:30 20日のみPM7:00
主催／労音 会費￥240 追加金￥110 第1部—アジアに昇る太陽（中国 朝鮮 ヴェトナムの歌と踊り）第2部—夜明けへの鼓動（日本の歌と踊り）於國際会館

▷第26回全国労音招へい海外演奏家ベートーベン・チクリス追加例会 ゲヴァントハウス弦楽四重奏団公演
11月16日 PM6:30 主催／労音 会費￥240
追加金￥260 於國際会館



ジャムセッションのトランペット奏者、ケニー・ドーバム

▷ベートーベン連続演奏会第4回

11月17日 PM6:30 18日 PM7:00 主催／労音会費￥240 追加金￥160 演奏—大阪フィルハーモニー交響楽団 指揮—朝比奈隆 於國際会館

▷第1回ジャムセッション公演

11月10日 PM7:00 主催／神戸新聞会館 提供／J.B.C 入場料 S￥1500 A￥1200 B￥1000 C￥700 於國際会館

▷中国青銅器・陶器・漆器展
10月20日～11月23日 毎日 AM10:00～PM4:00 月曜休館 入場料大人￥50 学生￥30 中学生以下￥20 於白鶴美術館

▷劇団四紀会第8回公演「龍淵溝」

11月16・17日 PM6:15 会費一般￥200 学生￥150 作—老舗／訳—駿波 演出—島三郎 於海員会館

▷神戸女子薬大美術部展 11月6日～11日

▷福田好志花井一生展 11月12日～17日
入場無料 於ナショナルギャラリー

愛読者 サロント



ことをよく知っていますし、神戸の街をたいへん愛しているようです。

(姫路市八代南町一六七・西博)

小小岡岡牛上梗石乾砂有浅荒朝青安比
曾野根崎部崎尾田並野 野岡田木奈木部
一真伊真吉将正成豊 信長 重正
夫造忠子一朗夫一明彦仁道平晃隆雄夫

田滝竹砂白坂阪古後上小小木嘉川金大
宮川中田川口本林藤林林磯下納西井淵
虎勝 重干 喜末英芳良 正元ツトム
彦二都民渥雄勝樂二一夫平繁治英彥

神山若百宮宮松福深畠原野中直永田田
戸青口杉崎地崎井富水 口沢西木井中中村
青年会議泰辰辰辰芳惣専忠幸 太達健寛孝之
所弘慧雄二雄男美吉郎郎勝郎七郎次介

★ 拝啓「神戸っ子」は毎月楽しく
お世話をいたいたい方々

★ 拝啓「神戸っ子」は毎月楽しく
お世話をいたいたい方のことを探してあります。さて、私の知人
で今度ドイツから来られたアンナさん
といふ人についてちょっとお知らせ
します。この方はもう中年のご婦
人ですが少女時代の十何年かを神戸
で過ごし今度五十年ぶりで再び神戸
へ訪ねてこられました。毎日現在須
磨の海浜公園の一部になつてゐる彼
女の育つた足跡を行つてみたくなり想
出の街を散策したりして故郷の香り
を懐しんでおられます。生まれたの
は京町25番地ですが今はその付近
一帯はすっかり変わつてしまい、どう
しても自分の生れた場所が空
しくオリンピックホテルへ帰つてみ
たら、何とホテルの建つてゐる場所
が京町25番地だったと感慨深げに語
つてくれました。彼女は昔の神戸の

★ ルを読んでいて「エプロン」を創作
なさつてゐる方のことを探してみました。
私もやはり女性、日頃からエプロン
が大好きで自分で工夫したも
のを身につけて楽しんでおります。
今度、赤根夫人がなさる「花のエプロンシヨー」はぜひ見せていただき
たいと今から楽しみにしていま
す。エプロンは女性の象徴だと思
います。今度のシヨウがそういう意味
で日本の家庭を発展、より健康で
楽しくヨーソアのため、「エプロン美
人」が続出するなどなにスララン
イでしょう。近所の奥さまたちに
も「神戸っ子」のこの記事を見せま
した処、希望者が多く、総勢5人で
出掛けることになりました。
(東灘区主婦 柏原原代子)

編集後記



★ ★ ★
★ 月刊「神戸っ子」をお読みの方
には左の本屋さんでどうぞ。
大丸書籍部 神戸大丸五階
漢口堂三宮店 京町筋角
流泉書房 センターハウス

1年分 六五〇円
6月分 一三〇円(送料共)
月刊「神戸っ子」NO.44

月刊「神戸っ子」を販売する
場合には左の本屋さんでどうぞ。

★ 月刊「神戸っ子」を毎月お読み
になりたい皆さま、また神戸を離れて
いるお友達に、神戸の香りをおと
どけになりたい方は、編集室あてに
お申込みになれば、さっそくお送り
いたします。

神戸っ子
こあんな



小宝文庫 第日文
小原光文堂 一書
盛南文庫 東洋文庫
堂堂館 国際会館
元町通5丁目 目前
元町通3丁目
元町通1丁
国鉄本駅北口
阪神御影南側
国鉄住吉駅北口
編集・発行 / 小泉康夫
発行所・月刊「神戸っ子」
編集室

★ 月刊「神戸っ子」に紹介されて
いる、神戸の銘店には、お客様へ
のサービスとして「神戸っ子」がお
かれています。

★ 月刊「神戸っ子」に広告を掲載
して、お店を、又商品を紹介なさ
りたい方は、月刊「神戸っ子」編集
室へお申込みください。

★ 「ファミリーコース」の取材に
お移しになった。青谷のお住いの床
の間に「琴の爪」が飾られていました
ことが懐しく、ゆかしいお柄に、
その様子をお伺いし実際に工事現場
も保護帽をかぶって見学。
★ 先号の「神戸の文化をどうする
か」については、10月12日付毎日新聞
神戸版の月曜論評の欄、細川長が
一郎支長が「神戸文化推進協議会
を結成せよ」と呼びかけ、座談会の結
論として得た文化団体は相互に手を
さしのべ合つて「神戸文化推進協議
会」を結成した。文化の地盤を防ご
うといふことが一般に紹介された
なお、この神戸文化の核つくりは
実際にその第一歩を踏み出すよう
に企画がすすめられている。

★ 岡部伊都子先生が、京都へ居を
まえまえから温めていた企画です。
いろんな角度から神戸のコースをと
りあげてきました。お友達やお客様
に神戸を案内する時、どうぞこれ
をご利用ください。(松原新一)
★ 本号の特集、コースの紹介は、
(小泉康夫)
シンディ。

★ 秋の舞子台地にある六甲工専のラクビー場を訪ね、野村一高先生の

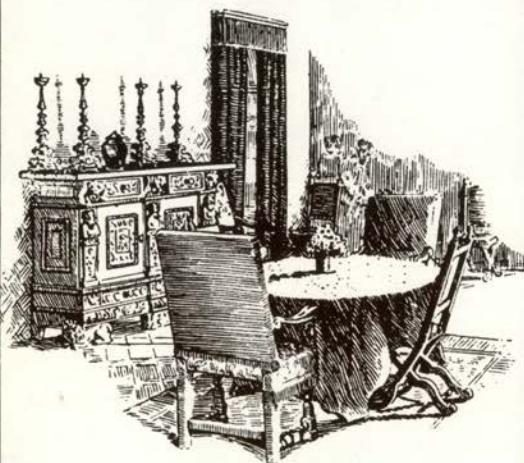
取材に行く。凝りに凝る西村カメラ

マンの注文で猛烈なダッシュを數

回、野村先生「こりやあ、試合より

シンディ」。

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

大丸前 TEL { 39 3737
3739

創業明治四年

味噌漬・佃煮
大井の神戸肉
*

KOBE BEEF



大井肉店

本店 神戸市生田区元町7電 ④1046・4780

阪神百貨店・大阪三越・三宮そごう・神戸三越
直売所 伊丹日本航空・塚本ライフ・豊中ライフ・伊丹エース

神戸
プロムナード



ショッピング・バッグに夢がいっぱい。この足どりで
センター街へ。



雨の中をショッピングに向かう。大丸前交叉点にて。

ドイツ菓子
Juchheim's
ユーハイム

宝錦
カトレア

イマイ画廊

サウム

スルベイ

イマイ

宝錦
カトレア

Coca-Cola



さっそく元町に行く神戸っ子。

道。町のなかの道。
くるまが流れ、人が流れ、
道はきらきらと
雨に光る。
花模様の傘の下で
ふりむいたあなた。
散歩道。アーケードのある散
歩道。
どこからかメロディが流れ、
華麗なショウ・ウインンドウ
並び、
風船のよう
夢をふくらませるあなた。
ブロムナード。雑沓のなかの
ブロムナード。
そこが
にぎわいのなかに
人々はまぎれいり
ひとり
都會の表情になる。
やがて群衆のなかをぬけて

撮影／緒方しげを



喫茶店での憩いのひとときを終えて
トア・ロード。



Hino

高性能の日野

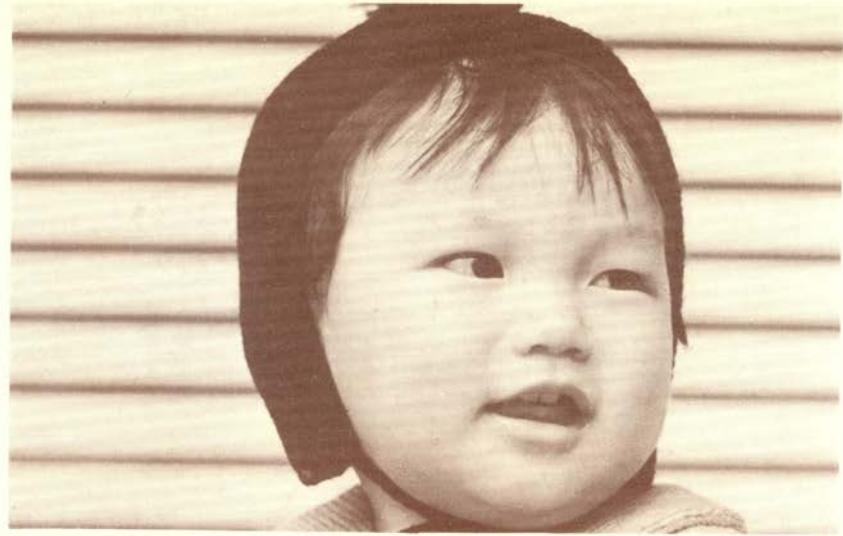
日野

レノンジヤー

兵庫日野ディーゼル株式会社

TEL 34 7651

コンテッサ・ルノーのご用命は
神戸日野モーターへ
TEL 34 5771～5



ほほえみ・やすらぎ
・しあわせ

■百店会でのお買物は神戸銀行のホーム・チェックをご利用ください

● すまいる預金 ● ホームプラン預金 ●

神戸銀行



《安全設計》だから
ご愛用 日本一!

- 精巧で確実なサーモスタッフ（自動温度調節器）が要所、要所に装置され安全です。
- 独創的な配線（頭寒足熱式）で、強く毎日折りたんでもビクともしません。
- お手元のコントローラースイッチで、寝ながら自由に温度が調節できます。



ホーム電気毛布
DB-22 100V-120W

現金正価 9,200円 月賦定価 9,500円

眠っている間に 健康になる…

ナショナル 電気毛布